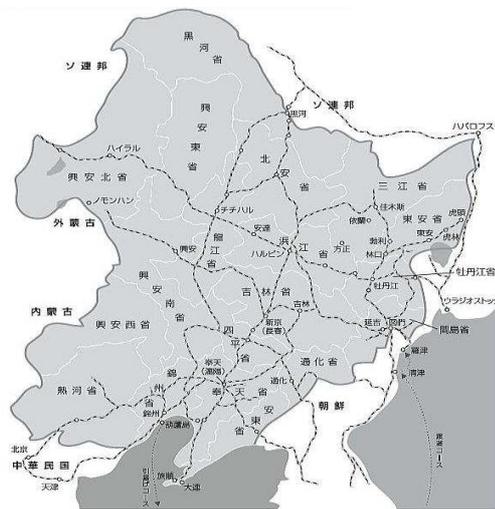


「中国残留邦人」 — 私たちは歴史の中に生きている —



「開拓団」の国民学校



「満洲」全図

中国帰国者の会HPより

本企画では、戦時中の日本の国策によって生み出され、戦後「満洲」に取り残された、いわゆる「中国残留邦人」の問題を取り上げます。敗戦前に「満洲」に渡り、敗戦後の過酷な逃避行の末に中国に取り残された「中国残留邦人」はどのような体験をしたのでしょうか。また、彼らが日本に帰った後に如何なる問題に直面し、日本政府はそれに対して如何なる対応を取ってきたのでしょうか。本企画は、この歴史の体験者である西田瑠美子さんに貴重な体験をお話し頂き、さらに長年この問題に携わってきた弁護士石井小夜子さんに「中国残留邦人」を取り巻く現状についてご説明頂きます。歴史体験者の生の声を皆さんと共有し、今も残る日本政府の戦争責任問題を皆さんと共に考えていきたいと思ひます。

講師 西田瑠美子さん—中国帰国者の会

石井小夜子さん(弁護士)—石井法律事務所

日時 2013年11月3日(日) 13:00~

会場 一橋大学西キャンパス(国立市) 本館 36番教室

主催 学生団体「満洲の記憶」研究会 (<http://manshunokioku.blog.fc2.com/>)

協力 NPO 法人中国帰国者の会 一橋大学社会学部 佐藤仁史ゼミナール

タイムスケジュール (予定)

12:30~ 受付開始

13:00~ はじめのことば

13:10~ 西田さんの体験談

13:55~ 休憩

14:05~ 石井弁護士の講演

14:50~ 質疑応答